

# Associate Reactive Developer認定試験

## Detail Sheet

### 要件

Associate Reactive Developer認定試験の受験に必要な認定資格はありません。

### 試験

出題形式: 選択問題

出題数: **50**

合格点: **70%(50問中35問正解)**

試験時間: **2時間(最大)**

実践的な知識やシナリオを中心に出题し、受験者の理解度とプロフェッショナルとしての経験を確認します。各問題につき正解は1つです。不正解でも減点はされません。

# 試験で扱うトピック

Associate Reactive Developer認定試験では、OutSystemsでのリアクティブアプリケーション開発の基礎のうち、データモデリング、UI開発、ロジック、画面のライフサイクル、モジュール型アーキテクチャなど、リアクティブWebアプリとモバイルアプリに共通する部分を扱います。トピックの詳細と配点については、次の表をご覧ください。

カテゴリ/トピック	出題数	配点
<b>OutSystemsのリアクティブアプリ</b>	<b>7</b>	<b>12%</b>
クライアント変数	1	2%
画面のライフサイクル	3	6%
デバッグと監視	2	4%
<b>データモデリング</b>	<b>6</b>	<b>12%</b>
エンティティとデータ型	4	8%
データリレーション	2	4%
<b>データの取得</b>	<b>10</b>	<b>20%</b>
Aggregate	6	12%
画面でのデータ取得	4	8%
<b>ロジック</b>	<b>11</b>	<b>22%</b>
クライアントアクションとサーバーアクション	2	4%
フォームの検証	4	8%
ロジックフローと例外処理	5	10%
<b>UI設計</b>	<b>13</b>	<b>26%</b>
画面のウィジェット	9	18%
ブロックとイベント	4	8%
<b>アーキテクチャとセキュリティ</b>	<b>4</b>	<b>8%</b>

モジュールの依存関係	2	4%
ロールベースのセキュリティ	2	4%

## 試験の準備

Associate Reactive Web Developer認定試験の準備として、[Reactive Developer Boot Camp](#)に参加するか、[オンラインコース](#)を受講することをお勧めします。「オンラインリソース」セクションに記載されているトピックについても学習するとよいでしょう。

### オンラインリソース

以下のオンラインリソースをぜひご確認ください。リソースには、コース（または特定のモジュール）、オンラインヘルプ、テクニカルノートが含まれます。

- リアクティブ開発
  - [リアクティブWeb開発者への道](#)
- オンラインヘルプの追加リソース（Web開発のみ）
  - [データを使用する](#)
  - [UIを設計する](#)
  - [アプリケーションロジックを実装する](#)
  - [ロジック](#)

## 申し込み

受験の申し込みはOutSystemsの以下の認定資格ページで行うことができます。

<https://www.outsystems.com/learn/certifications/>

このページで対象の試験を確認し、試験に使用する言語を選択して、[Pre-register(事前登録)]ボタンをクリックします。フォームに必要事項を入力し、記載されている手順に従って申し込みを完了します。

### 試験の予約変更

試験の予約を変更できるのは予約した試験日時の**48時間前**までです。[OutSystemsの認定資格ページ](#)にアクセスし、受験する試験の横にある[Reschedule(予約変更)]オプションを選択します。試

試験日時まで**48時間**を切ると、試験の予約を変更できなくなります。この場合、予約した日時に試験を受ける必要があります。試験を受けなかった場合、受験料は返還されません。

予約日時の**15日前**までは、追加料金なしで予約を変更できます。予約日時の14日前から48時間前までに試験の予約を変更すると、25米ドルの追加料金が発生します。

## 受験

テストセンターで受験できます。試験に申し込む際に、最寄りのテストセンターを調べて予約可能な日時を確認することができます。試験準備がしっかり整った環境で現地の言語を話すスタッフからサポートを受けることができるため、快適に受験できます。

オンラインでも受験できるため、試験会場に足を運ぶことなく、都合のよい時間・場所を指定できます。試験には第三者機関の監督が設置され、受験者の物理的環境や仮想環境に問題がないことを確認し、試験が公正かつ公平に実施されるよう監視します。オンライン試験の詳細については、以下のPrometricのユーザーガイドをご覧ください。

<https://www.prometric.com/sites/default/files/2019-10/PrometricProUserGuide.pdf>

オンライン試験の場合、試験監督者からのサポートは英語のみとなります。試験に英語以外の言語を選択した場合に、その言語が反映されるのは試験内容のみです。試験の設定中やサポートが必要な場合に試験監督者とコミュニケーションをとるには、英語にある程度習熟していることが求められます。

## 再受験

試験に合格しなかった場合は、いつでも次の試験に申し込めます。受験料は通常の額をお支払いください。申し込みは [OutSystemsの認定資格ページ](#) から行ってください。何かお気づきの点がありましたら、[サポートセンター](#)からお問い合わせください。

## 認定資格のバージョン

認定資格はOutSystemsの特定のバージョンに関連付けられています。最新バージョンの認定資格を得るためには、そのバージョンに対応する認定試験に合格する必要があります。たとえば、「OutSystems 11のAssociate Reactive Developer認定資格」というようになります。

試験の申し込みおよび受験にあたっては、以下の[利用規約](#)をよく読んで同意してください。

ご質問がある場合やサポートが必要な場合は、OutSystemsのWebサイトのチャットをご利用いただくか、[サポートセンター](#)でトレーニングのサポートケースをオープンしてください。

ご健闘をお祈りしています。